

# おかげさ 議会だより

令和4年2月1日発行

vol.

211

2022

12月定例会

31人の議員が岡崎市の今と未来のため  
一般質問に登壇

- P02 一般質問
- P11 主な議案
- P12 委員会審査
- P13 討論
- P14 審議結果
- P15 3月定例会予定
- P16 都市宣言 他

(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

更に詳しい情報は  
岡崎市議会HPへ



# 一般質問

12月定例会では、31人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目の概要について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議事録及び議会映像をご覧ください。

一般質問の掲載原稿は、議事録に基づき質問議員が作成しています。

## 佐藤哲朗（民政クラブ）

・効果的なごみ処理の実践

・生物多様性保全への事業者協力

## 田口正夫（無所属）

・西部地域の道路

・放課後児童

## 中根善明（無所属・日本共産党岡崎市議団）

・障がい児へのケア

・スポーツ振興

・農家への支援

## 荻野秀範（自民清風会）

・地域商社

・中山間地域にある公共的施設

## 畑尻宣長（公明党）

・岡崎市発達に心配のある子の早期支援システム

・放課後等デイサービス

・若者サポートセンター

## 井村伸幸（民政クラブ）

・公立病院の在り方

・災害時の公共施設の在り方

## 原田範次（自民清風会）

・矢作川の氾濫避難計画

・みどりの食料システム戦略

## 加藤嘉哉（民政クラブ）

・コロナ禍における市民病院の運営

## 磯部亮次（自民清風会）

・東岡崎駅

・国道1号

## 築瀬太（自民清風会）

・下水道の雨水整備

・福祉総合相談体制

## 加藤義幸（自民清風会）

・保育園・こども園

・駐輪場とJＲ岡崎駅周辺整備

## 井町圭孝（民政クラブ）

・本市の企業誘致

## 野本篤（自民清風会）

・岡崎駅針崎若松土地区画整理事業

・翔南中学校の教室数

・企業版ふるさと納税

## 鈴木雅子（無所属・日本共産党岡崎市議団）

・気候危機を打開する脱炭素社会に向けた本市の施策

・孤独死の原状回復

・性暴力被害から人権を守ること

## 廣重敦（自民清風会）

・再生可能エネルギー

・省エネ

・テレワーク

## 野島さつき（公明党）

・ケアラー支援

・3歳児健診における弱視の早期発見

## 酒井正一（自民清風会）

・東部地域の公共交通

・大規模災害を見据えた消防職員の教育

育

## 柳賢一（無所属）

・水道利用における安心の追求

・障がい者への優先調達の推進

## 三宅健司（民政クラブ）

・地域福祉

・生物多様性

## 原紀彦（民政クラブ）

・環境への取組

・北部道路網の整備

## 土谷直樹（公明党）

・空き家対策

・施設点検

・セントラルラリー

## 前田麗子（自民清風会）

・防犯対策

・行政のデジタル化の推進

## 大原昌幸（無所属）

・本市の活性化

## 杉山智騎（チャレンジ岡崎）

・行方不明者

## 柴田敏光（民政クラブ）

・岡崎歯科医師会

・通学路の安全確保

## 鈴木静男（自民清風会）

・市長の市政運営

・中山間地域活性化計画

## 青山晃子（チャレンジ岡崎）

・子ども達の意見を表す権利と表現の自由

・働く保護者への子育て支援

・家庭ごみの分別における市民への周知と協力量請

## 野々山雄一郎（自民清風会）

・市民の学び

・市民体育祭

## 近藤敏浩（チャレンジ岡崎）

・自転車の安全で適切な利用の促進

・予防接種

## 杉浦久直（自民清風会）

・土地利用

・子どもに関する取組

## 三塩菜摘（無所属）

・学校教育

一般質問とは



・議案とは別に、事務の執行状況や将来の方針など、市政全般についての報告や説明を求め、疑問を問いただすものです。

・岡崎市議会では6、9、12月定例会で行っています。

今定例会では、一般質問を行った全ての議員が一問一答方式により質問しました。



草木剪定枝の有効活用  
佐藤 哲朗 (民政クラブ)

**問** 可燃ごみの中で組成的に割合の大きい剪定枝のリサイクルは、ごみの減量効果も高いと思うが、本市の見解は。

**答** 剪定枝のリサイクルについては、古くから、細かく破碎<sup>さいさい</sup>することで堆肥化や、雑草が生えるのを防ぐ防草材とする技術はあったが、処理コストや剪定枝を活用したりリサイクル材の安定消費の課題があることから導入を見送ってきた。

しかし、剪定枝のバイオマス発電への活用が全国的に検討されていることも踏まえ、本市においてもマテリアルリサイクルとサーマルリサイクルの両面で新しいリサイクル技術や資源循環スキームの導入を検討していく。リサイクルには多くの費用が発生するので、コストにも十分に配慮し、官民連携、PFI等、様々な手法でごみ減量とリサイクルのコストパフォーマンスの向上を図っていく。



矢作地区の道路  
田口 正夫 (無所属)

**問** 矢作地区は、国道1号や県道岡崎刈谷線など東西軸の幹線道路の整備は進んでいるが、南北軸は計画路線が少なく、整備も遅れている。平成18年にも一般質問で取り上げたが、南北軸の一つである(仮称)橋日本郷線について、これまでの取り組みを伺う。

**答** 当該道路は18年度に都市計画画道路豊田西尾線のバイパス機能を担う道路として計画し、19・20年度に予備設計を行い、早期の都市計画決定を目指していた。

しかし、道路延長が4キロメートルと長く、国道1号や名鉄名古屋本線を横断することから調整に制約が多いことや、立体交差の整備には多額の事業費が必要なため、25年度には都市計画道路全体の見直しにおいて再検討することとした。令和3年3月に策定した新たな都市計画マスタープランでは、矢作地区においては豊田西尾線の整備を促進することとしている。



障がい児へのケア  
中根 善明 (無所属、日本共産党岡崎市議員)

**問** 医療的ケア児の就学先について、地域の学校が特別支援学校かどのように決まるのか。

**答** 医療的ケア児の安全が確保されることを前提として、障がいの状態、本人の特性、本人や保護者の意見、教育的・医学的見地からの意見、学校の状況等を踏まえた総合的な観点から審議を行い、教育委員会が就学先を決定する。地元の学校への就学が適切と判断され在籍するケースもある。

**問** 地元の学校に通学する場合の通学方法は。

**答** 基本的には保護者が自家用車等で送迎することになる。

**問** 通学に移動支援を利用することは可能か。

**答** 地域生活支援事業の移動支援は市の判断で取り扱いを決めることができるが、本市としては、国の同行援護等と同様に通年かつ長期にわたる外出である通学は、現時点では支給対象外となる。

※1 廃棄物等を原材料として再利用すること  
※2 廃棄物から熱エネルギーを回収すること



中山間地域にある  
公共的施設

荻野 秀範（自民清風会）

**問** 地域の再生を目指す新しい取り組みである「小さな拠点」の形成について、本市も検討すべきと考えるが、見解は。

**答** 施設の有効活用に向けて、各施設がそれぞれ拠点として活用を進めながら、つながりを持ち、面的に地域活性化を図り、住民主導により住民の意向を反映した機能を有する施設としていきたい。その際は、中山間地域に点在する遊休施設を活用したいと考えており、将来的には市からの規制や関与がなく、地元の使用手が良い、自ら運営できる体制の構築も含め、現在策定中の中山間地域活性化計画に盛り込む予定である。また、運営方法については、農村地域づくり事業体の形成への誘導など、効率的な運営組織も検討しながら、市、地域、民間企業が一体となって、分野横断的な連携・関わりを支援し、地元中心の運営体制の確立をしていきたい。



若者サポートセンター

畑尻 宣長（公明党）

**問** 若者を適切な機関につなぐためには、支援をしてくれるNPOなど支援先の充実が必要不可欠と考える。切れ目ない支援を続けるため、子ども・若者支援地域協議会は設置されたのか。また、どのように関係部署、関係機関によるネットワークを形成し、更なる連携体制の強化をしていくのか。

**答** 不登校や引きこもりなどの様々な要因で困難を抱える子ども・若者の支援には、関係部署、関係機関との連携が不可欠であり、年度内に岡崎市子ども・若者支援地域協議会を設置し、第1回代表者会議の開催を予定している。本市の未来を担う子ども・若者が社会的に自立し、それぞれの能力を生かして活躍できるよう、子ども・若者支援地域協議会により、教育・福祉・保健医療や雇用など、NPO法人等の民間団体を含め、支援先となる関係機関とのネットワークの形成・強化を図っていく。



公立病院の在り方

井村 伸幸（民政クラブ）

**問** 市民病院は平成28年度から5年連続しての赤字事業となっているが、現在の経営状況についての見解を伺う。

**答** 移転新築から20年以上が経過し、老朽化した施設・設備の改修や、耐用年数を超えた医療機器の更新は、今後必要である。高度医療を提供するため、多くの専門職を雇用し、多くの高度医療機器を所有するなど高コストとなる費用を賄えるだけの収益の確保が課題であると考えている。

**問** 医療収益を上げるためには、地域の医療機関や市民に関心を持ってもらう必要がある。最新の医療技術や機器を、今後どのように活用していくのか伺う。

**答** 高度な診療技術や医療機器は、当院の役割である高度急性期医療の充実に不可欠なものであるとともに、地域の医療機関や市民に関心を持ってもらうためのツールとしても活用していく。



矢作川の氾濫避難計画

原田 範次（自民清風会）

**問** 矢作北学区の5344世帯に実施した回収率60%のアンケートによると、1448世帯が自動車での避難を希望しているが、実際はそれ以上の車が避難し、道路幅が狭いため迅速な避難はできないと想定される。道路拡幅など避難路を整備する方法はないか。

**答** 令和3年5月に都市計画法が改正され、地区計画によって避難路を位置付け、整備する手法が新たに創設された。

**問** 地区計画を進める手段は。

**答** 防災上の課題を協議し、現に向けて取り組むため、住民の理解や合意形成が必要になる。

**問** 避難路の整備に、災害対策事業として都市計画税を活用することはできないのか。

**答** 都市計画事業という位置付けとなれば、避難路の整備などの災害対策事業の実施に当たっては、目的税である都市計画税を活用することができる。



**コロナ禍における今後の市民病院の運営方針**  
加藤 嘉哉（民政クラブ）

**問** コロナ禍における今後の市民病院の運営方針は。

**答** これまでと全く異なる医療ニーズが付加された状況において、市民病院は本市が運営する唯一の医療機関として、また市民の健康を守る最後のとりでとして、オールインワンの医療機関であることを目指さなくてはならない。そして、新たなニーズとして新型コロナウイルスのような新興感染症の感染拡大時における中等症・重症患者をニーズに応じて受け入れる柔軟な病床運用の在り方を構築していく。また、来年度から感染症小児科を新設し、新興感染症に対する小児特有の対策を講じていく。当医療圏にある藤田医科大学岡崎医療センター、愛知医科大学メデイカルセンターと連携し、全ての市民が当医療圏内であらゆる医療を完結できるような医療体制の構築に向け、リーダーシップを発揮していきたいと考えている。



**国道1号 大手門前く市役所**  
磯部 亮次（自民清風会）

**問** 国の岡崎歩道整備事業の目的と内容について伺う。

**答** 安全で快適な歩行者・自転車空間の確保と車道幅員の拡幅を行うことで、交通課題の解消を図る。具体的には、道路の全体幅員23メートルを30メートルに、車線3メートルを3・25メートルに拡幅し、自転車通行帯を設ける。歩道も十分な幅を確保し、電線類の地中化を進める。

**問** この道路整備に併せ、島町交差点の豪雨時の道路冠水を解消すべきと考えるが、見解は。

**答** 雨水整備による対策は必要と考えており、乙川へ向けた雨水管渠の整備を計画している。

**問** 岡崎公園前交差点、康生通南交差点、康生通南2丁目交差点、島町交差点の陸橋を架け替える必要性を感じるが、見解は。

**答** 康生通南2丁目と島町は今の事業で架け替える計画であり、その他は詳細設計の段階で再度検討する考えと聞いている。



**下水道の雨水整備 八帖北幹線整備事業**  
築瀬 太（自民清風会）

**問** 昨今の豪雨では、内水氾濫など降った雨水をいかに処理するかが大きな課題である。そこで、八帖雨水ポンプ場整備事業に関連して実施する八帖北幹線の工事の今後の計画と、少しでも早く浸水被害を軽減する対策を伺う。

**答** 新しい八帖雨水ポンプ場は八帖北幹線の整備が完了しないと工事に出来ないため、八帖北幹線などの管渠整備を令和3年度から5年間で進め、新しい八帖雨水ポンプ場の整備は令和6年から9年間で進める予定である。現計画では、管渠整備が完了してもポンプ場が完成するまでの期間は効果が発揮できないため、少しでも早く浸水被害が発生している地区の被害軽減を図れるように、今回整備する八帖北幹線を雨水貯留管として、ポンプ場が完成するまでの間、暫定的に利用することを考えており、既設管渠からの集水方法なども含めた検討を進めていく。



**保育園ごとも園**  
加藤 義幸（自民清風会）

**問** 民営化により、運営費等の削減が示されている。この削減された予算を使って、以前から要望のある使用済み紙おむつの一括回収を提案するが、見解は。

**答** 使用済み紙おむつの回収・廃棄については、保育士や保護者の負担軽減につながるものとして理解している。おむつの保管方法や作業手順、処分に要する費用負担、周辺自治体の状況等も踏まえ、検討しているところである。

**問** 六ツ美北保育園に続いて民営化を予定している公立保育園について、今後の展望は。

**答** 移管対象施設は、本庁・各支所管轄区域内において、基幹となる保育園を除く園の中から、移管受託について民間事業者にサウンディングを実施し、受託意思を確認できた園から移管することを考えている。民間活力を導入することで、特色ある保育・教育の実現等が図られると考えている。

※ 民間事業者との意見交換等を通し、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査



企業誘致

井町 圭孝 (民政クラブ)

**問** ここ数年で本市への進出や拡大を諦めた企業が複数ある。積極的かつ手厚いサポートをする

ことに加え、産業立地誘導地区のPRなどを行う企業誘致の総合商社のような部署を設置することを提案するが、本市の考えは。

**答** サポートを担当するのは、商工労政課ものづくり支援係である。相談の際に企業情報が分かれば、規制がある中でも可能な状況を探し出すことができる可能性が高くなるため、企業から直接問い合わせをもらえるよう、総合窓口という形で実施することとした。同係が企業と一緒にって規制部局との相談を実施することにより、希望場所以外での立地についても検討ができる他、環境面や奨励金などの支援や進出先の道路の状況、通勤時の渋滞状況の調査など、設計会社等が実施しないことも含めて対応するなど、企業に寄り添った支援を行っている。



岡崎駅針崎若松 区画整理事業

野本 篤 (自民清風会)

**問** 事業の進捗の遅れに、住民からは不安の声がある。いま一歩踏み込んだ事業の進展が必要ではないか。

**答** 本事業地は、「えきちか」というロケーションに加え、周辺で様々な都市インフラの整備が進められており、これまで以上に民間投資が期待できる非常にポテンシャルの高い地域であると認識している。昨今のコロナ禍により民間投資が進まなかったことを逆手に取り、金融機関やディベロッパー、ハウスメーカーなどに対してサウンディング型調査を行い、市場からこのエリアがどう映るのかを探っている。今後は、商業施設などを核としながら、新しい世代への住宅地の供給も行うことで、世代間の好循環を生み出し、新しいまちづくりの形成を図り、岡崎駅東地区に「もう一つの拠点」としてのまちづくりを進めていきたいと考えている。



岡崎市温暖化対策実行計画 ごみ減量

鈴木 雅子 (無所属・日本共産党岡崎市議員)

**問** 気候変動の被害が極めて深刻になっている。岡崎市地球温暖化対策実行計画では、温室効果ガスの総排出量を2030年度までに28%削減するとしているが、今後の目標値設定の考え方は。

**答** 国は、削減目標として2030年度において2013年度から46%削減することを目指し、更に50%に向けて挑戦を続けていくとしており、本市としてもその目標に劣後するものであってはならないと考えている。

**問** ごみ処理機の補助については、少なくとも年度内の希望者には全員補助ができる予算を付けるとともに、コンポストは全額補助でもよいと考えるが、見解は。

**答** 今年度は8月中旬に交付金額が予算額に達し、申請の受け付けを終了した。限りある財源の中で、できる限り広く市民に活用してもらえよう、適切な補助基数を判断していきたい。



(1)再生可能エネルギー (2)テレワーク

廣重 敦 (自民清風会)

**問** (1)地域の特性に合った再生可能エネルギーを導入するために、エネルギー関連企業の誘致に必要な土地をどう確保するかアイデアはあるか。

**答** 再生可能エネルギーに意欲を示す事業者を応援したいと考えており、土地の確保等を含めた様々な相談に応じていきたいと考えている。

**問** (2)サテライトオフィスについて、利用した職員からは前向きな意見があったようだが、これを進めていくに当たって、課題等はあるか。

**答** サテライトオフィスとして利用するに当たっては、セキュリティが確保されたネットワーク環境が必要となる。ネットワーク環境が整った既存の市の施設や、例えば民間のレンタルオフィスの利用といったことを視野に入れて、検討していきたいと考えている。



野島 さつき (公明党)

(1) ケアラー支援  
(2) 弱視の早期発見

**問** (1) ケアラー支援条例が全国で制定されてきているが、本市の見解は。

**答** 条例については今後検討を行っていくが、まずはケアラーとならざるを得ない世帯の状況を把握し、解消することが重要と考える。ある程度のケアや手伝いは否定するものではないが、ケアを担っている人の過剰な負担を軽減すること、気軽に相談できる場所をつくることなど、福祉・介護・医療・教育・支援関係機関などが連携し、ケアラーとなっている人が社会的に孤立しないように努めていきたいと考えている。

**問** (2) 弱視の早期発見に向け、本市における屈折検査機器の導入の意向を伺う。

**答** 3歳児健診で目のピントを測定する屈折検査は、弱視予防に有効な手段と考える。課題整理とともに国や県の動向を注視し、機器の導入を検討していきたい。



酒井 正一 (自民清風会)

東部地域のこれから

**問** アウトレットを核としたまちづくりを見据えた、本駅前周辺における公共交通の今後の方向性は。

**答** 本駅前周辺は、立地適正化計画における地域拠点に位置付けられており、土地区画整理事業により東部地域の発展の中核となることが期待できる地区である。アウトレットモールによる交流人口の増加、新たな住宅地の供給による定住人口の増加が期待でき、こうした交流・定住人口の増加は公共交通に対するニーズを高め、鉄道・バス・タクシー事業者などの運行計画の見直しにつながると考えている。この大規模な開発のタイミングに合わせて、アウトレットモール事業者も含め、交通事業者や豊富な経験・ノウハウを持った民間事業者との連携を一層強化し、公民連携の下で東部地域の利便性の向上に資するような公共交通の再編を目指していきたい。



柳賢一 (無所属)

(1) 水道利用の安心  
(2) 障がい者からの優先調達

**問** (1) 最低限の水圧が確保されたい使いやすい水道を、公平に安心して利用できるようにすべきと考えるが、見解は。

**答** 水圧は水道の使いやすさに直結するものであり、現在、地形により生ずる水圧変化を基準内に調節しながら、常時、安定配水が続いている。今後も水道に關し困り事がある場合は、気軽に相談してほしい。

**問** (2) 障がい者が働ける場所や機会を設けていくためにも、優先調達の推進を図るべきと考えるが、本市の見解は。

**答** 就労を望む障がい者が生きがいを持つて働き、そして働き続けることのできる環境づくりや、福祉的就労の充実を図る必要があると考える。契約担当局とも連携し、障がい者就労支援施設等が受注できる業務内容や、その周知方法等の検討を進め、発注の促進を図っていきたい。



三宅 健司 (民政クラブ)

(1) 地域福祉計画  
(2) 生物多様性おかさき戦略

**問** (1) 第3次地域福祉計画との違いは何であるのか。

**答** 地域生活課題という概念を意識しており、この把握と解決に向け、第4次計画では地域の中でのセーフティネットの構築と共生社会に向けた地域づくりへの展開に言及している。また、第4次計画では、新たな課題に対応するため、重層的支援体制整備事業実施計画、成年後見制度利用促進計画、再犯防止推進計画を取り込み、一体的に策定している。

**問** (2) 今後、戦略中期段階へ移行するが、取り組み内容は。

**答** 本市は、令和2年7月に内閣府からSDGs未来都市に選定された。SDGsの達成において生物多様性の保全は重要な役割を果たすものであり、達成に向けた取り組みを先導的に進めていく自治体として、生物多様性の恩恵を持続可能な形で享受できるように、総合的に施策を展開していく。



環境への取組

原紀彦（民政クラブ）

**問** 次世代エネルギーである水素の活用について、本市はどのように考えているのか。また、今後の展開は。

**答** 水素エネルギーは、次世代のエネルギー源の一つとして有望なものと考えている。環境省では、地域における水素社会サプライチェーンの形成に向けた機運を醸成するために、今年度、全国2カ所でシンポジウムを開催することとしている。本市は、いち早くゼロカーボンシティに関する組織を設置したことや、環境省との情報交換の中で本市のゼロカーボンに対する熱意などが伝わり、シンポジウムの開催地として選ばれた。現在、令和4年1月25日のシンポジウム開催に向けて準備を進めている。開催後は、参加した企業や関係機関と連携しながら、水素社会の形成に向けて協議・検討をしていき



空き家対策

土谷直樹（公明党）

**問** 空き家バンクの登録件数を増やすには、より多くの団体や企業と協力して運営することが有効かと思うが、本市の考えは。

**答** 他の団体等を加えた形で空き家バンクを運営することは、より多くの情報を発信できることになる。空き家対策の促進に向け、協力して取り組みたいと考える。

**問** 奈良県生駒市では、空き家の所有者と利用者の双方に働き掛けるイベントを開催している。専門家を交えたプロジェクトチームを作ることにより空き家対策が進むと考えるが、本市の考えは。

**答** 専門知識を持った民間事業者と連携しながら進めることは、問題解決や活用促進に有効かつ適切な手法であると考ええる。空き家の利活用に関しては、空き家を利用したい人へのアプローチも重要となる。他市の事例を参考にしながら、空き家の利活用促進の手法を検討していきたい。



子ども、女性、高齢者に対する防犯

前田麗子（自民清風会）

**問** 子どもや女性、高齢者等が被害に遭ってしまった場合は、本人だけでなく、その家族や地域社会全体にまで大きな影響を及ぼすことになる。犯罪のないまちを目指す宣言について、どのように考えているのか。

**答** 本市における犯罪発生件数は、警察、行政、事業者、地域が一体となって様々な防犯活動を継続してきた結果、着実に減少してきた。しかし、子どもや女性に対する卑劣な犯罪や高齢者を狙った悪質な特殊詐欺が、実際に身近で起きている。いま一度、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図り、犯罪を起こさせないという機運の醸成を図るために、子ども、女性、高齢者を犯罪から守る市の姿勢を示した都市宣言を表明したいと考えている。誰一人として被害者にも加害者にもならない岡崎をつくっていききたいという思いで、都市宣言を行いたいと考えている。



本市の活性化

大原昌幸（無所属）

**問** 安城市では、国家技能検定の造園や機械加工、パン製造や染色、ウェブデザインなど、100を超える検定の受験料や受講料の補助をしている。本市でも実施することを提案するが、見解は。

**答** 人材育成は非常に重要であると考えており、企業への支援として中小企業・勤労者支援センターで人材育成に関するセミナー等を行っている。まずは、このセミナー等を通し、補助金等の必要があるかも含めて検討したい。

**問** 静岡県湖西市では72万円を、山口県下関市では60万円をそれぞれ上限として奨学金の返済支援をしている。本市でも支援の実施を提案するが、見解は。

**答** 本市では、採用機会の増加が重要と考えており、雇用対策協議会や岡崎商工会議所と連携し、合同企業説明会等を実施している。企業の奨学金返済支援については、現状把握に努めていく。



行方不明者の命を守る  
具体的な対策  
杉山智騎 (チャレンジ岡崎)

**問** 令和2年6月に高齢者が、3年7月に児童がそれぞれ行方不明になり、残念な結果になってしまったことを踏まえ、行方不明者に関する本市の今後の対策は。

**答** 今回も行ったが、事業所発生した場合には、当該事業所に対して実地指導を行うのはもちろんのこと、市内全ての事業所に対して現状のサービス提供について改めて見直しを行い、各利用者の特性に応じたサービスの提供が行われていたか、利用者の安全確保のために職員間の情報共有や連携の強化の必要性が周知されていたか、緊急時のマニュアルの整備に加え、それを踏まえた訓練を実施することで緊急時の体制を構築していたかなどについて、検証・指導をしていく。他にも、岡崎おかえりメールの対象者に障がいを持つ人を加えることや、近隣市で実績のあるGPS導入補助事業などについても検討していきたい。



口腔機能健診  
柴田敏光 (民政クラブ)

**問** 口腔機能の低下を防ぐためには、後期高齢者に限定せず、もう少し若い年齢の人にも口腔機能健診を広げていけると良いと考える。65歳から実施している自治体もあるが、本市の見解は。

**答** 口腔機能が低下する年齢は個人差があるが、歯の喪失や入れ歯によって、かむ力が弱くなると加速する。そのため、早め自身の口腔機能の状態を知り、予防していくことは重要と考えている。口腔機能健診の対象年齢については、国のマニュアルに基づき、後期高齢者への実施が優先であると考えている。その他の年齢への実施については、先進自治体の取り組みを参考に、国や県の動向を踏まえ、岡崎歯科医師会の意見も聞きながら検討していく。



市長の市政運営  
鈴木静男 (自民清風会)

**問** コンベンション施設整備事業の一時凍結に起因する事態について、責任の所在も含めてどのように考えているのか。

**答** コンベンションホールの再考は、決して市長が好きにしてよいと市民から白紙委任をされたものではないと考えている。このため、太陽の城跡地の在り方については、市長の立場として、いま一度市民の意見を聞くため、優先交渉権者に対して事業の一時凍結を申し入れ、11月30日に新たな方向性を公表した。この新たな方向性を受けて、優先交渉権者にはこれまでに検討してきた内容の見直しなど、費用も含めて大変な負担を掛けていると認識し、これら一連の全ての責任は、当然、市長である私にあると考えている。その一方で、市民の意見を聞いてきたことにより、現行計画よりも市民に愛され、誇りを持ってもらえる計画になったと確信している。



子ども会議  
青山晃子 (チャレンジ岡崎)

**問** 生徒市議会の目的と、まちづくりほっとミーティングへの子ども参加に対する見解は。

**答** 生徒市議会の目的は、行政や議会に関心を持つことであり、子どもたちの表現の場でもあり、ほっとミーティングは、性別や年齢を問わずに参加可能であり、子どもが様々なテーマに興味を持ち、世代の異なる中で意見を交わすことや市政に積極的に参加することは大きな意義があると考えている。

**問** 第3期おかざき子育てプランの策定時には、国が検討する子ども会議の設置など、子どもを当事者として認め、尊重する施策を盛り込むことが必要では。

**答** 当事者参加の視点は、子どもが自由に意見を表し、社会の一員として主体的に活動していく力を育むために必要と理解する。具体的な方向性や施策等について、次期計画を策定する際に盛り込むことを検討する。



野々山 雄一郎 (自民清風会)

(1)市民の学び  
(2)市民体育祭

**問** (1)個人向け市職員出前講座の更なる展開と、学んだことを見る見える化することへの見解は。

**答** 岡崎を学ぶをテーマに、市民が岡崎への関心を高め、知識を深める講座の開催や、市内4大学や企業が実施している講座との連携を働き掛けていくことも考えている。また、見える化については、日頃の生涯学習活動を記録できる手帳の作成を進めている。

**問** (2)市民体育祭に代わる新たなスポーツイベントの趣旨は。

**答** これまでの市民体育祭とスポーツレクリエーション祭のメリットを取り込み、参加する市民が自分のニーズに合ったスポーツに出会えるイベントを目指す。年齢・性別・障がいの有無に関わらず、友人同士や家族でも楽しく参加しやすい新たな種目の体験会や、トップアスリートによるスポーツ教室などを盛り込んだ、新しいイベントにしていきたい。



近藤 敏浩 (チャレンジ岡崎)

自転車の安全で適切な利用の促進に向けて

**問** 若い世代の未来を本市全体で守ってもらいたいという市民の思いを踏まえ、若い世代に交通ルールを守り自転車を安全に利用してもらうためにどうしていくのか、本市の考えを問う。

**答** 若い世代に対して、自転車を安全に利用するためのマニュアル、ルールを守ることの必要性を周知し、安全運転意識を徹底させることが重要と考えている。本市では、高校生に自転車の安全な利用について考えてもらう機会として、令和元年から1年生を対象にアンケート調査を実施している。この調査結果を高校ごとに返し、それぞれの学校で実態を把握してもらい、生徒に対する指導に役立ててもらっている。今後も引き続き、高校生に対し自転車の安全運転意識の徹底を図るとともに、ヘルメットの着用と損害賠償保険への加入を推進し、若い世代の事故の減少につなげていく。



杉浦 久直 (自民清風会)

子どもに関する諸施策の現状と今後の取組

**問** 新南部学校給食センターの進捗状況は。

**答** 今年度、候補地の状況把握、導入機能、規模等を調査検討し基本計画を策定する。新西部学校給食センター同様、卵・乳の食物アレルギー対応食の提供のみならず、将来的な除去品目拡大や代替食提供の検討も踏まえた計画とし、市営住宅中之郷荘の敷地の一部を候補地として整備を進めたい。

**問** 子育て関連の問い合わせへの、SNS活用の見解は。

**答** 社会全体のデジタル化が加速度的に進んでおり、本市においても、組織体制を始め市民目線でのデジタル化への取り組みを進めている。今後、更にデジタル化が進む中、若い世代だけでなく、全ての市民がデジタルを活用したツールで相談や問い合わせができ、速やかに必要な情報を収集できるような仕組みを構築し、利便性の向上を図っていきたい。



三塩 菜摘 (無所属)

コロナ禍の学校教育と不登校支援

**問** 3年9月に実施したハイブリッド型分散登校の成果は。

**答** 子どもたちを感染リスクから遠ざけ、安全を確保した状態で計画的に授業を進められたことで学びの保障ができたことや、多くの教職員がオンライン授業を経験したことで教職員のICTを活用する力量が向上したことが成果として挙げられる。

**問** 全国的に不登校児童が過去1スクールF組に変化はあるか。

**答** 子どもの様子の変化として、多くの子どもがコミュニケーション力が確実に向上したこと、目標を持って学校生活を送る子どもが増えていることが挙げられる。

**問** 今後の校内フリースクールの導入予定について伺う。

**答** 6年度までに市内全中学校へ配置を完了させ、7年度以降に小学校への配置も展開できるように検討していく。

# 主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、14・15ページに掲載しています。

## 承認議案

■一般会計補正予算の専決処分  
国のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策における子育て世帯への臨時特別給付金の給付に要する経費に係る予算措置（令和3年11月25日専決）。

## 条例議案

■国民健康保険条例の一部改正  
健康保険法施行令等の一部改正に準じ、出産育児一時金の支給額を引き上げ、40万8000円とする。

■くらがり溪谷レクリエーション施設条例の一部改正／くらがり溪谷内の第1駐車場を有料化するに伴い、駐車場使用料の金額等を定める。

## その他議案

■病院事業の設置等に関する条例の一部改正／市民病院における医療の質の向上を図るため、新たな診療科として感染症小児科を設ける。

■公の施設に係る指定管理者の指定（地域交流センター他11施設）／地域交流センター、市民会館、甲山閣、せきれいホール、おかざき自然体験の森、おかざき農遊館、ふれあいドーム岡崎、籠田公園、籠田公園地下駐車場、中央総合公園、市営住宅及び特定公共賃貸住宅の指定管理者を指定する。

■損害賠償の額を定めること／QRUWAプロジェクト（コンベンション施設整備事業等）において、市による本事業の一時凍結に伴い、優先交渉権者との間で本事業関連契約の一部が締結に至らなかったことにより、相手方に損害を与えたため、損害賠償の額を定める。

## 補正予算議案

■一般会計補正予算（第9号）

○民生費／障がい福祉サービス費、障がい児通所給付費、子ども医療扶助費、生活保護費支給事業費など約13億9796万円の増

○衛生費／救急医療体制運営費補助金、新型コロナウイルス感染症行政検査委託料、新型コロナウイルス感染症予防接種事業費など約6億1736万円の増

○商工費／中小企業事業資金保証料補助金、新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業費など約2億4706万円の増

○土木費／道路整備工事請負費（スマートインターチェンジ整備事業）など約2億42万円の減  
○教育費／緑丘小学校校舎増築工事請負費など約1億9029万円の増

■阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）／埋蔵文化財調査委託料、環境対策委託料など約5208万円の増

■国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）／一般被保険者

療養給付費保険医療機関等負担金など約10億785万円の増

■一般会計補正予算（第10号）

○民生費／住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費に対し約77億7365万円の増

## 令和3年度12月補正予算

(単位：万円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	13,038,891	1,015,551	14,054,442
特別会計	6,563,220	106,453	6,669,673
企業会計	5,714,054	△26,442	5,687,612
合計	25,316,165	1,095,562	26,411,727

# 委員会公審査

4 常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

## 総務企画委員会

### 一般会計補正予算（第9号）

#### 歳入・寄附金

**問** ふるさと納税で令和3年度の寄附額が増えている要因は。

**答** 新しい取り組みとして、魅力ある返礼品を増やすことを目的に事業者の発掘のための訪問等を実施し、ふるさと納税が大きなビジネスチャンスであることを訴えつつ、返礼品の紹介に効果的な文章や写真の指導を行ったことで、返礼品数が増加した。また、キャンプやバーベキューブームに着目し、返礼品として登録されている鉄板やコンロ、食材といったキャンプ関連商材を集めた返礼品の特集のウェブサイトを構築したことで、多くの利用があった。

## 福祉病院委員会

病院事業の設置等に関する条例の一部改正

**問** 小児科、脳神経小児科、新生児小児科に4月から感染症小児科が加わり小児に関する診療科が四つになるが、役割分担は。

**答** 脳神経小児科、新生児小児科、感染症小児科は小児領域の中の専門分野であり、この3科に属する医師も小児科を兼務する。役割として、脳神経小児科は主に小児の発達及び神経・筋疾患の診療を担当し、新生児小児科は主に予定よりかなり早く生まれてきたり、標準よりもかなり低体重の新生児をNICUで診療する。また、感染症小児科は主に予防接種の実施や特殊感染症、難治性ウイルス感染症、自己免疫疾患についての診療を担当する。専門分野の小児科医は、その領域において専門性が必要な患者を主に担当し、それ以外の患者には小児科のスタッフとして交代で診療を担当していく。

## 文教経済委員会

一般会計補正予算（第9号）  
民生費

**問** 緑丘小学校の校舎内に整備する児童育成センターの概要は。

**答** 新設される2階建て校舎の1階に専用室を整備して第2緑丘児童育成センターとして活用することを計画しており、定員は50人の予定である。学校の教育活動と児童育成センターの運営が互いに支障なく行えるよう、校舎の施設に関わることなく出入りできる児童育成センター専用の出入口や、廊下に開閉できる扉を設ける予定である。また、保護者による送迎は、校舎西側の学校用地に車両を止め、通用口から学校の敷地内に入るルートを想定している。なお、児童育成センターを開設していない時間帯に学校側が部屋を利用することは可能と考えており、学校と連携して柔軟な施設利用を図っていきたい。

## 建設環境委員会

一般会計補正予算（第9号）  
土木費

**問** 通学路の緊急合同点検により抽出された危険箇所のうち、47カ所を整備する理由と内容は。

**答** 各学校から要望された約330カ所の中から対策が必要である箇所として97カ所を抽出し、そのうち市道管理者が整備する55カ所の中で現状の道路形状で整備可能な47カ所において、区画線の復旧を始めた。路面標示の整備など即効性が高い対策を早期に実施する。区画線の復旧以外の路面標示対策としては、新たな外側線がわそくせんを設置することによる路側帯の確保、横断歩行者のたまり場の確保及びグリーンラインの新設を予定している。また、中央線を消して路側帯を広げ、車道幅を狭める対策を予定している。この対策は、速度抑制や通り抜けの抑制に寄与し、事故の発生を防止する効果が期待できると考えている。

# 討論

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

## 一般会計補正予算（第9号）

### 自民清風会

「スポーツ教育の向上を目的として、三菱自動車硬式野球部の選手による野球教室や体験会を開催する。スポーツ体験は、連帯感や地元愛を育てるのに大変重要と考えるので、ぜひ進められたい。今後本市の更なるスポーツ振興に期待する。また、歳入では令和3年度のふるさと納税を合計2億1000万円に増額する。返礼品の数の増加などを見ても努力がうかがえる内容であり評価をするが、他市へ流れる税額も年々増している。ふるさと納税は本市産業のPRとなる絶好の機会であり、今後も魅力ある返礼品の開発と情報発信をすること、より良い成果につなげられたい」と意見を述べ、**賛成**した。

### 民政クラブ

「3年6月に千葉県八街市やちまたで起きた、下校途中の小学生の列にトラックが突っ込み5人の死傷者が出た痛ましい事故を受け通知された国土交通省の『通学路における交通安全の更なる確保について』により実施した通学路の緊急合同点検において、危険箇所を洗い出し、47カ所の整備を行う。区画線やグリーンラインの整備により、視覚的な歩車分離を促し、即効性も高い安全対策であることから、優先して整備することを評価する。その他にもラバーポールや防護柵の設置等を行っていく予定とのことであり、今後も引き続き通学路の安全確保を図られたい」と意見を述べ、**賛成**した。

### チャレンジ岡崎

「妊娠中や出産して間もない時期にヘルパー等を派遣して家事や育児を手伝うサービスの利用が増加している。今年度開設された子ども子育てサポートフロアで母子健康手帳の交付時に併せて利用申請できるようになり、利便性が向

上したことで利用増加につながったと考える。子どもの健やかに育つ権利を守るには、子育て家庭への適切な支援が欠かせないため、産前産後家庭支援業務を始めとする様々な子育て支援策の周知と利用促進を今後も期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

### 公明党

「特殊詐欺対策装置の購入費補助が当初に見込んでいた予算に達したため、100台分を増額する。近年、特殊詐欺は頻発し、巧妙化が進んでいる。対策装置を設置した人の詐欺被害は発生していないとのことである。今後も未然に詐欺被害を防ぐため、ごまんとく体操の会場や高齢者の集まる機会を利用するなど、周知啓発に力を入れられたい」と意見を述べ、**賛成**した。

### 無所属・日本共産党岡崎市議団

「今年度に引き続きマイナンバーカード発行窓口をつくり、受付をする。国が国民の税と社会保障を始めたとする個人情報を一極で集中管理することが目的で、漏洩ろうえいの危

険もあり、民間のためにビッグデータが使用される可能性もあるマイナンバー及びマイナンバーカードを普及しようとしている」と意見を述べ、**反対**した。

### 無所属・大原昌幸

「コンベンション事業の新たな計画を実施していくために業務がやり直しになるという内容での今回の賠償は到底納得できるものではないが、これ以上、市との協議を長引かせることによる事業者側の人件費分の増額の可能性や、市民に対する更なる負担増を避けるための実際に掛かった費用の支払いである」と意見を述べ、**賛成**した。

### 無所属・三塩菜摘

「大河ドラマ『どうする家康』を契機とする地域経済の持続的發展を見越して、市独自にポスターやのぼりの製作、推進に使用するロゴマークやキャッチコピーを公募する。若者から行ってみたい町として注目されている機運を生かし、ポストコロナに向けた包括的な観光振興の推進につながることを期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

# 審議結果 12月定例会

件名		採決結果	会派別賛否			
			自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡崎	公明党
<b>市長提出議案</b>						
承4	令和3年度一般会計補正予算の専決処分	承認	○	○	○	○
83	財産の取得(市道阿知和工業団地線ほか1路線用地)	可決	○	○	○	○
84	公の施設に係る指定管理者の指定(地域交流センター)		○	○	○	○
85	公の施設に係る指定管理者の指定(市民会館、甲山閣及びせきれいホール)		○	○	○	○
86	公の施設に係る指定管理者の指定(おかざき自然体験の森)		○	○	○	○
87	公の施設に係る指定管理者の指定(おかざき農遊館及びふれあいドーム岡崎)		○	○	○	○
88	工事請負の契約(岡崎駅東土地区画整理事業 都市計画道路柱町線道路築造工事)		○	○	○	○
89	公の施設に係る指定管理者の指定(籠田公園及び籠田公園地下駐車場)		○	○	○	○
90	公の施設に係る指定管理者の指定(中央総合公園)		○	○	○	○
91	公の施設に係る指定管理者の指定(市営住宅及び特定公共賃貸住宅)		○	○	○	○
92	手数料条例の一部改正		○	○	○	○
93	職員のサービスの宣誓に関する条例及び消防団条例の一部改正		○	○	○	○
94	職員の公益的法人等への派遣に関する条例の一部改正		○	○	○	○
95	防災基本条例の一部改正		○	○	○	○
96	国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○
97	くらがり溪谷レクリエーション施設条例の一部改正		○	○	○	○
98	開発行為の許可等に関する条例の一部改正		○	○	○	○
99	市営住宅条例の一部改正		○	○	○	○
100	病院事業の設置等に関する条例の一部改正		○	○	○	○
101	農業集落排水処理施設条例の一部改正		○	○	○	○
102	損害賠償の額を定めること		○	○	○	○
103	令和3年度一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	○
104	令和3年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○
105	令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○
106	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○
107	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○
108	令和3年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○
109	令和3年度額田北部診療所特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	
110	令和3年度こども発達医療センター特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	

(○賛成、×反対)

件名	採決結果	会派別賛否				
		自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡崎	公明党	
<b>市長提出議案</b>						
111	令和3年度病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○
112	令和3年度水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○
113	令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○
114	令和3年度一般会計補正予算(第10号)		○	○	○	○
同8	固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○
諮2	人権擁護委員の推薦	異議なし	○	○	○	○
<b>請願</b>						
請2	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充	不採択	×	×	×	×
<b>陳情</b>						
陳6	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関すること	意見を付して議長に報告することとした。				
陳7	野焼き(野外での焼却行為)の禁止と、周知徹底を求めること					

## 3月定例会予定

3月定例会の  
請願・陳情提出締め切りは、

**2月14日(日)**

です。

月	火	水	木	金	土	日
2/28 開会、 市長提案説明、 議案説明	3/1 代表質問	2 代表質問 議案質疑、 委員会付託	3 議案検討	4	5	6
7 議案検討	8 建設環境委員会	9 福祉病院委員会	10 文教経済委員会	11 総務企画委員会	12	13
14	15	16	17 議会運営委員会	18	19	20
21	22 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	23	24	25	26	27

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、各常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定です。

### 3月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。  
変更する場合は、岡崎市議会HPでお知らせいたします。

### 傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらくの間、本会議及び委員会の傍聴をご遠慮ください。  
議会中継は、インターネット等でご視聴いただけます。詳しくは16ページをご覧ください。

犯罪のない誰もが安全で安心して生活することができる地域社会の実現に向けて、市民一人ひとりの意識の高揚を図るとともに、行政、議会、警察、事業者、地域が一丸となって犯罪を起こさせないという機運の更なる醸成を図るため、市の姿勢を示した都市宣言を市長、議長の連名で表明しました。

## 都市宣言 『子ども・女性・高齢者を犯罪から守るまち岡崎』

犯罪のない安全で安心な地域社会を築くことは、岡崎市民の大きな願いであります。

本市においては、平成21年12月に「岡崎市犯罪のない安全・安心なまちづくり推進条例」を制定し、市民が安全で安心して生活することができる地域社会の実現に向け、地域一丸となって様々な防犯活動に取り組み、犯罪は着実に減少してきました。

しかしながら、犯罪の前兆と思われる「不審者による子どもへの声掛け」や潜在化している「女性への付きまとい行為や性犯罪」、大切な財産を騙し取る「高齢者を狙った特殊詐欺」などの悪質な犯罪は後を絶ちません。万一、犯罪に巻き込まれてしまった場合は、長期にわたり心理的、身体的に重大な悪影響を与えるだけでなく、その家族や地域社会全体にまで大きな影響を及ぼすため、対策を講じなければならない重要な課題であります。

そこで、市民一人ひとりが、自らの生命及び財産を守るために必要な防犯に関する知識の習得に努めるとともに、行政、議会、警察、事業者、地域が一丸となって、悪質な犯罪から、子ども、女性、高齢者を守り、犯罪のない誰もが安全で安心して暮らせるまちの実現を目指し、ここに、

『子ども、女性、高齢者を犯罪から守るまち岡崎』を宣言いたします。

令和4年1月8日

岡 崎 市 長    中 根 康 浩  
岡崎市議会議長    加 藤   学

### ▶ 議会中継

定例会の開会日、一般（代表）質問、閉会日の内容はケーブルテレビミクスで中継しています。また、インターネットでも本会議の全日程をライブ中継と録画映像で配信しています。

インターネット映像は、スマートフォンやタブレットPC等のスマートデバイスでも視聴可能です。

### ▶ 委員会映像の配信

議案等の審査を行った常任委員会と特別委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。

### ▶ 会議録の公開

会議録は市立図書館、各支所、市政情報コーナー（市役所西庁舎1階）等で閲覧できる他、市議会ホームページでも閲覧することができます。

議会中継、委員会映像の配信、会議録の公開とともに、右のQRコードからご覧になれます。



### 表紙の写真



11月28日（日）に、中央総合公園体育館で小学生のクラブチームによるバレーボール大会が行われました。コート内では選手が躍動し、爽やかなプレーが続いていました。

### 議会ダイヤル ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
無所属	日 本 共 産 党    ☎23-6397
	無 所 属        ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問い合わせください。